

紳士ベストのモアレ



クリーニング（パーク）後、三ッボタンスーツのベスト背中部分にモアレ（波形）状のシミ跡が発覚しました。位置は、ちょうどベルトの中央部分に当たります。

絵表示



発生原因

使用生地がポリエステルタフタ（平織）であり、生地密度をみると粗いことがわかります。タフタは、タテ糸に諸撚糸、ヨコ糸に片撚糸のタテ糸より太いものを使いち密に織り、細かいウネをもつ生地です。本来、タフタは織り密度がち密であるはずがこの生地の場合粗く、また、**素材が摩擦強度の強いポリエステルであったため、着用中のベルト及び背広等との擦れで、生地タテ糸の目が左右にずれ、目寄れ（スリップ）を起こしたものでしょう。**この生地がレーヨンだった場合、ツヤを出すため樹脂加工を施すため目寄れは起こしません。また、タフタではなく、三ッボタンの背広では一般的なサテンだった場合も、目寄れは起きにくいでしょう。結局、この製品は**ベストとしての素材と織り組織の組み合わせが不適正であったために、モアレを起こしたものと**考えられます。